

県民意見の提出状況について

宮城県企画部政策課

平成22年度に行っている公共事業再評価に係る県民意見の提出状況等は、以下のとおりです。

記

- 1 意見募集期間
平成22年6月2日（水）～平成22年7月1日（木） [30日間]
- 2 意見提出方法
郵便, ファクシミリ, 電子メール
- 3 関連情報の提供手法及び周知方法
 - (1) 関連情報の提供手法
 - ① インターネット（県ホームページ）
 - ② 県政情報センター（県庁）での公表
 - ③ 県政情報コーナー（仙台以外の各地方振興事務所及び各地方振興事務所地域事務所）での公表
 - ④ 宮城県議会図書室での公表
 - (2) 周知方法
 - ① みやぎ県政だより
6月号「県からのお知らせ」欄に掲載
 - ② ラジオ
 - ・Date fm「アラウンド・ザ・ミヤギ」 放送3回
6月7日（月）、16日（水）、22日（火）の放送枠内
 - ・TBCラジオ「ラジオ県民だより」 放送2回
6月5日（土）、12日（土）の放送枠内
 - ③ 地上波デジタルデータ放送
ミヤギテレビデータ放送「県市町村からお知らせ」に掲載
 - ④ メールマガジン
宮城県メールマガジン「メルマガ・みやぎ」第308号（6月4日発行）
トピックスに掲載
 - ⑤ 市町村広報誌
掲載8市町
広報しおがま6月号, 広報いわぬま6月号, 広報とめ6月号,
広報くりはら6月号, 市報ひがしまつしま6月号, 広報わたり6月号,
広報やまもと6月号, 広報まつしま6月号
（事業実施市町14市町に広報誌等への記事掲載を依頼）

⑥ チラシ設置

- ・ 県庁県政広報展示室，各地方振興事務所及び各地方振興事務所地域事務所でのチラシ設置
- ・ 県内コンビニエンスストア（サンクス，ファミリーマート，ローソン）でのチラシ設置

4 意見提出件数

4 件

5 意見の整理の考え方

—

6 提出された意見の概要

	事業名	意見の概要
1	一般県道 小牛田松島線 初原道路改良事業	整備が早期に完了し，国道45号の渋滞が緩和されるよう期待する。 整備後は，これまでの渋滞時に比べ国道45号の通過時間はどの程度短縮されるのか。
2	経営体育成基盤 整備事業(芋塚地区)	栗原市は水田整備が遅れており，中山間地域を中心に営農条件が不利な地域では，農業後継者の不足や農地の汎用化が困難なことから，耕作放棄地の増大による病害虫発生の影響も懸念されている。 これらの課題を解決するツールのひとつとして，この芋塚地区も含め，今後も農業基盤の整備を着実に進めてほしい。
3	公共事業再評価制度 について	公共事業を行う場合，このような制度は必要と思う。県庁内部だけの評価ではなく，外部（専門家や有識者）の意見も汲み入れて評価を行っていることが重要だと思った。 内容的に難しいと思ったが，評価内容や審議状況をホームページで公開しているので，県の取組みが分かり，参考になった。
4	公共事業再評価制度 について	普段，宮城県が実施している公共事業の内容や進み具合などを知る機会がほとんどないので，こうした再評価制度により調書を公表していただくと，一部難しい内容もあるが，事業の現在の状況などを把握できる。 現在，公共事業の予算が削減されている中で，事業期間が延長されるなど，公共事業の実施はますます厳しい状況となっていくことと思うが，今後も広く情報公開に努めていただきたい。

7 事業担当課の見解

	事業名	事業担当課の見解
1	一般県道 小牛田松島線 初原道路改良事業	<p>国道45号の一般県道赤沼松島線交差点から主要地方道仙台松島線愛宕交差点までのルート(約3.4km)と、今回整備を進めている一般県道小牛田松島線を含めたルート(約5.3km)について、平成17年度交通量調査を基に混雑時の車両通過時間を算定し比較すると、約13分から約10分へと約3分短縮されると想定しています。</p> <p>(土木部道路課)</p>
2	経営体育成基盤 整備事業(芋塚地区)	<p>本県では、良質な宮城米をはじめ麦類・大豆・飼料作物などの安定的な生産と地域農業の中核となる農業者の育成・確保を目的に農業基盤の整備を推進しております。</p> <p>県としましては、栗原市など関係機関との調整を図りながら、地域の方々からの要望を踏まえ、計画的な事業推進に努めてまいります。</p> <p>(農林水産部農村整備課)</p>
3 4	公共事業再評価制度 について	<p>県民の皆様の視点に立った成果重視の行政運営の推進に向け、今後も分かりやすい公表資料の作成及び効果的、効率的な再評価制度の実施に努めてまいります。</p> <p>(企画部政策課)</p>